

動物の目

1 はじめに

特別支援学級で8時間の授業を依頼されました。6時間で「ぐにゃんを作り、揚げる」、2時間で「動物の目」の学習を行いました。なお、生徒は2年生が5人でした。ここでは、「動物の目」の学習について紹介します。

2 指導計画と学習のねらい

- 草食動物の目は顔の横に、肉食動物は顔の前についていることをインターネットで調べることができる。(1時間)
- 目の付き方の違いがそれぞれの生活に役に立っていることを理解する。
- 3Dメガネを使って立体視を体験する。) (1時間)

3 授業展開

(1) 目の付き方の違いを調べる(1時間)

- ① 「課題1 動物の名前を10種類以上書こう。」に取り組む。
2分間で取り組むことを指示した。

<交流> 一人1頭ずつ発表した。発表した動物名・発表された動物名は、ワークシートに赤丸をつけて、同じ動物名を発表しないように指示した。教師は発表された動物名を草食動物(Aグループ)、肉食動物(Bグループ)、その他の動物(Cグループ)の3つに分けながら板書した。

- ②「課題2 AグループとBグループのそれぞれの動物について3種類ずつ、食べているものと目の位置について調べよう。」に取り組む。

A・Bそれぞれのグループから3種類ずつ動物を選んで、iPad(インターネット)を使って調べるように指示したが、どれを選んで良いのか、理解しにくいようであったため、教師がA・Bグループからそれぞれ調べるべき3種類の動物を指示した。

Aグループ:シマウマ、キリン、リス Bグループ:ライオン、トラ、オオカミ

<交流> 一人ずつ1頭ずつ調べた食べ物と目の位置について発表した。

発表していく中で、草食動物の目は顔の横に、肉食動物の目は顔の前についているというつぶやきが出てきた。

動物の生活と目	
Aグループ	Bグループ
動物の名前 (シマウマ) 食べているもの (草) 正面から見た顔に目を書く	動物の名前 (ライオン) 食べているもの (肉) 正面から見た顔に目を書く
動物の名前 (キリン) 食べているもの (草) 正面から見た顔に目を書く	動物の名前 (トラ) 食べているもの (肉) 正面から見た顔に目を書く
動物の名前 (リス) 食べているもの (木の実) 正面から見た顔に目を書く	動物の名前 (オオカミ) 食べているもの (肉) 正面から見た顔に目を書く

動物の生活と目	
Aグループ	Bグループ
動物の名前 (シマウマ) 食べているもの (草) 正面から見た顔に目を書く	動物の名前 (ライオン) 食べているもの (肉) 正面から見た顔に目を書く
動物の名前 (キリン) 食べているもの (草) 正面から見た顔に目を書く	動物の名前 (トラ) 食べているもの (肉) 正面から見た顔に目を書く
動物の名前 (リス) 食べているもの (木の実) 正面から見た顔に目を書く	動物の名前 (オオカミ) 食べているもの (肉) 正面から見た顔に目を書く

動物の生活と目	
Aグループ	Bグループ
動物の名前 (シマウマ) 食べているもの (草) 正面から見た顔に目を書く	動物の名前 (ライオン) 食べているもの (肉) 正面から見た顔に目を書く
動物の名前 (キリン) 食べているもの (草) 正面から見た顔に目を書く	動物の名前 (トラ) 食べているもの (肉) 正面から見た顔に目を書く
動物の名前 (リス) 食べているもの (木の実) 正面から見た顔に目を書く	動物の名前 (オオカミ) 食べているもの (肉) 正面から見た顔に目を書く

(2) 2限目

① 目の付き方の違いがそれぞれの生活に役に立っていることを理解する。

ア) 1分20秒の動画「チーターの狩り」を視聴する。

教師が準備した動画(YouTube)をiPadで視聴した。

イ) 草食動物は目が横に、肉食動物は目が前にあることを復習する。

パワーポイント(「doubutu-me_01.pptx」)を各生徒のiPadに配付したが、ソフト「パワーポイント」が入っていないため、教師用iPadを使ってみんなで取り組んだ。

ウ) 草食動物の目が横についていることで敵を早く発見できることに適していること、肉食動物の目が前についていることで立体視の範囲が広くなり、獲物までの距離を測ることに適していることを理解する。

教師用iPadにあるパワーポイント(「doubutu-me_01.pptx」)にみんなで取り組んだ。

みんなで2回ほど音読した。

エ) 「doubutu-me_03.pptx」に取り組んだ。

生徒用iPadにはソフト「パワーポイント」は入っていないが、静止面を見ることができたので、個々に取り組んだ。

ペアを作り、一方が他方に()を埋めながら説明する活動を行った。

ペアを作れなかった生徒は支援員に説明するよう指示した。

② 3Dメガネを使って立体視を体験する。

肉食動物の目の位置から、立体視の範囲が広いことを学んだ。立体的に見えるとはどういうことかを子どもたちに投げかけた後、3Dメガネを使って立体的に見えることを体験した。

生徒の各iPadに浮き出る画像(「kaorikyara.PDF」、「kyuu.PDF」)を配付して、3Dメガネで見た。

その後、なぜ、両目で見ると立体的に見えるのかを、「rauu_riyuu.pptx」を教師用iPadで説明した。

4 おわりに

教師用iPadにはソフト「パワーポイント」が入っていたが、生徒用には入っていなかった。生徒用にはないかもしれないという発想がなかった。せっかく用意したデータが活用できなくて残念だった。

ほ乳類の目と食性をたくさん調べていくと、草食動物の目の位置、肉食動物の目の位置に共通性があることを見いださせたかったが、難しかったことから、調べるべき動物を教師の方から指定した。通常学級でも調べるべき動物3種類を指定した方がいいのだろうか。

目の位置と食性について、ペアを作り、一方が他方に()を埋めながら説明する活動ができたのは良かった。

※次頁にワークシートを掲載します。

動物の生活と目

()年()組・名前()

課題1 動物の名前を10種類以上書こう。

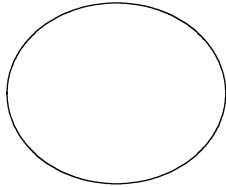
課題2 AグループとBグループのそれぞれの動物について3種類ずつ、食べているものと目の位置について調べよう。

Aグループ

動物の名前 ()

食べているもの ()

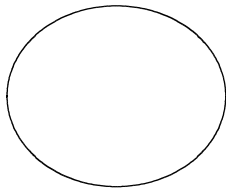
正面から見た顔に目を書く



動物の名前 ()

食べているもの ()

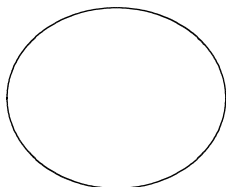
正面から見た顔に目を書く



動物の名前 ()

食べているもの ()

正面から見た顔に目を書く

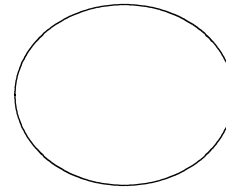


Bグループ

動物の名前 ()

食べているもの ()

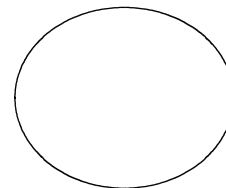
正面から見た顔に目を書く



動物の名前 ()

食べているもの ()

正面から見た顔に目を書く



動物の名前 ()

食べているもの ()

正面から見た顔に目を書く

